



2022年3月期 第3四半期決算説明資料

2022年2月9日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

当社は、2021年3月期については連結財務諸表を作成しておりません。
そのため本資料において、過去数値との比較を行っている項目については、
特段の記載がない限り単体の過去数値との対比になっておりますのでご了承ください。

会社概要 事業内容

業績概要

S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン



2021年10月1日より持株会社体制となり、社名をS I Gグループと変更いたしました

経営理念

- 1** ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。S I GグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。
- 2** 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。
- 3** 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことで ビジネスを常に前進させています。
- 4** 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す
会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

会社名

株式会社S I Gグループ

代表取締役社長

石川 純生

連結従業員数

426名（2021年12月末日時点）

設立

1991年12月16日

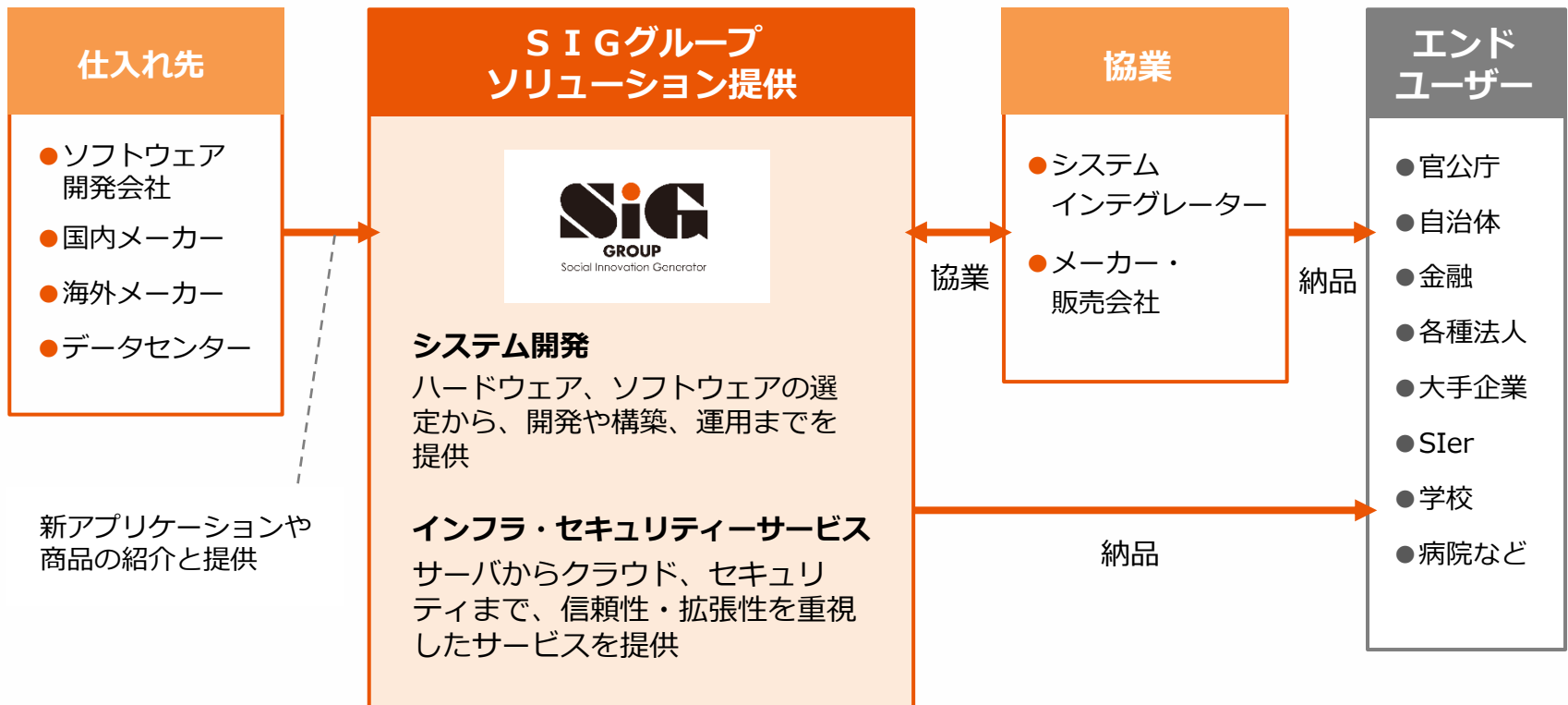
グループ会社

株式会社S I G

株式会社アクロホールディングス

株式会社Y. C. O.

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



エネルギー



通信



自動車



FA



インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティの設計から構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン
システム構築



防災システム
構築



クラウド/
ビッグデータ



クラウド環境
セキュリティ診断



指紋認証



業績概要

第3四半期累計業績・通期計画サマリー

- リモートワーク定着が、グループ全拠点で最適稼働へつながり受注増への対応が可能に
- 各分野において業績は堅調に推移したほか、製造系・金融系・公共系システムが好調
- 売上の伸長に伴い営業利益は対前年を上回る

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期（連結）			
	第3四半期実績	第3四半期実績	前年同期比	進捗率	修正通期業績予想
売上高	3,176	3,588	+13.0%	72.8%	4,930
営業利益	204	247	+20.8%	68.8%	359
営業利益率	6.4%	6.9%	-	-	7.3%
持分法投資利益	-	33	-	70.9%	47
経常利益	199	275	+37.7%	68.8%	400
当期純利益	135	200	+48.6%	75.5%	266

システム開発

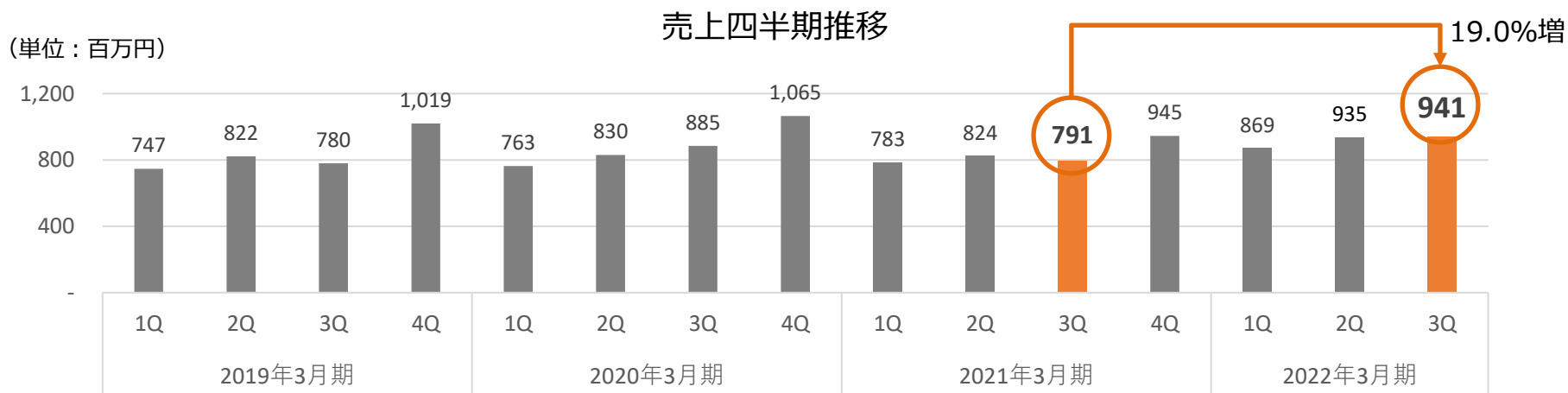
(単位：百万円)

	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	前年同期比
累計売上高	2,398	2,746	+14.5%

主要事業領域の各分野での業績は堅調に推移

- ・ 公共系：自治体のマイナンバー活用等のDX化推進に伴うシステムの標準化・共通化の需要増で計画を大幅に上回る
- ・ 製造系：EV需要の増加など電子部品実装装置の市況の好調により、組み込み系開発およびIoT投資による上位システム開発の請負案件により計画を大幅に上回る
- ・ サービス系：通信分野での5G関連の開発案件やコロナ対策としてのEC系の開発増により好調に推移

その他既存システムの機能追加開発、不動産システム開発等の受注・売上の計上がプラスに影響



インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	前年同期比
累計売上高	777	841	+8.2%

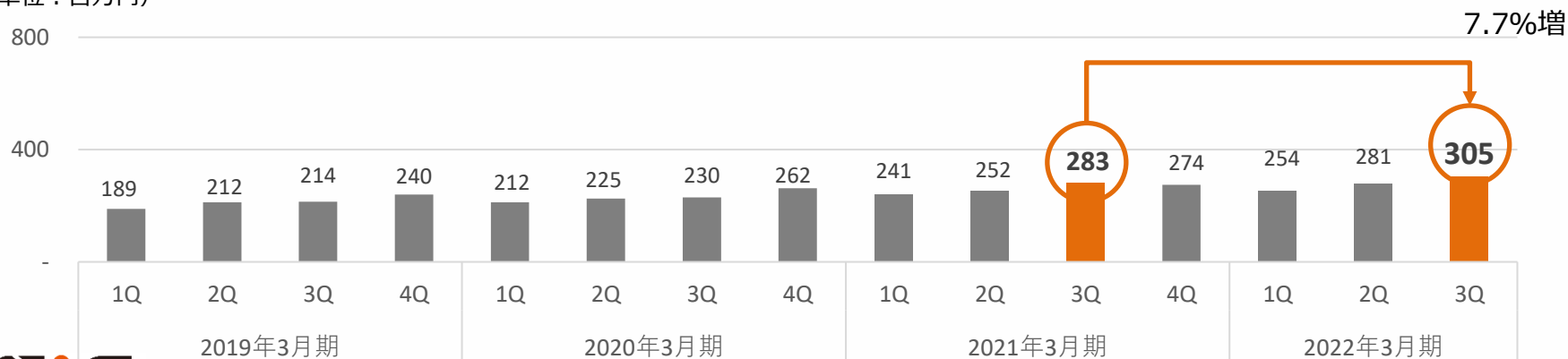
昨年の高成長を維持しつつ、例年の売上成長を実現

- ・ 公共系：省庁のインフラ構築、セキュリティ関連案件の人員増により計画を上回る
- ・ エネルギー系：コロナ対策のためのリモートアクセス環境の強化などにより計画を大幅に上回る
- ・ 金融系：AWS環境への移行業務に伴う案件増のため計画を大幅に上回る
- ・ セキュリティ系：一部顧客で縮小された計画業務は再開されているものの計画に対してはわずかにマイナス

その他の分野も堅調に推移し、対前期比で売上は増加

売上四半期推移

(単位：百万円)



S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

経営理念

ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO*として成長に貢献」

長期ビジョン ありたい姿

現状維持へのシステム構築 既存事業

顧客の所属する業界特有のニーズと仕様・用途を熟知するSIGグループができるソリューションを構築

事業成長へのシステム投資 新規事業

既存事業の業界知識を事業成長のソリューションへ活かす仕組みを構築

中期計画 課題と施策

新代表者

代表取締役社長
石川 純生



新役員体制

取締役
5名体制（うち社外3名）

新経営体制の特徴

1. 既存業務の強化と拡大を企図し、 グループ体制を構築

受託開発を軸に単体では強化できなかった業務や人材を得て長期ビジョン達成を目指します

2. 新規事業を多角的に展開

既存事業を改善・進化させるため、当社グループの周辺業務に特徴のある企業との提携を模索

株式会社SIGグループ

■ 取締役

代表取締役社長	石川 純生
専務取締役	八田 英伸
社外取締役（監査等委員）	平林 尚人
社外取締役（監査等委員）	中山 英志
社外取締役（監査等委員）	青木 喜彦



株式会社SIG

■ 取締役

代表取締役社長	石川 純生
取締役	石川 泰久
取締役	廣重 朋昭
取締役	江幡 延男
監査役	吉原 清彦

第1フェーズは、SIGグループ文化の再評価から体制構築

第1フェーズ ~2024

第2フェーズ

~2027

第3フェーズ

~2030

文化の融合による
ビジネスチャンスの拡大

「崖越え*はSIGグループ」

- 大量のDX案件へ対応できる体制を作る
- 顧客に訴求できるソリューションの組成
- 売上：60億円

*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要とその需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

ITトータルソリューションカンパニーへ

- バリューアップソリューションを既存顧客へ
- システム構築支援から事業成長支援企業へ
- 売上：170億円（既存60億、新規110億）

企業の外部CIOとして成長に貢献

- 国内：外部CIOとして企業成長に貢献
- 海外：国内実績を活かした事業支援を展開
- 売上：300億円（従業員2,000人体制）

顧客のビジネス変革（DX）を支援

得意領域の実績と
新規事業の注力分野
を融合させ、DX
ソリューションを
提案できる体制へ

持株会社として
機能を活かして
M&Aで機能強化

お互いの強みを活かす
パートナー開発

新規事業

注力分野

スマートデバイス
クラウド
セキュリティ

既存事業

得意領域

公共 製造
社会インフラ
金融 拠点

アクロHD との
協業

グローバル
人材

「崖越えはSIGグループ」の体制を構築し、売上高60億円を達成

方針

- 事業体制強化と成長を勘案した数値目標を設定
- 事業執行の確実性とスピード化、ガバナンス強化のための持株会社化
- DX需要を確実に捉える体制を構築する

売上目標

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2024年3月期
売上高	4,397	6,000
営業利益 (営業利益率)	325 (7.4%)	600 (10.0%)

グループ体制 2021年12月31日現在

持株会社

(株) SIGグループ

企業文化の形成

事業会社

(株) SIG

スマートデバイス開発やクラウド、セキュリティ事業を強みに産学官のDX推進を支える

(株) アクロホールディングス

個性豊かなIT企業グループの総合力でデジタル分野の全領域をカバー

(株) Y. C. O.

独立行政法人の管理業務等に特化した専門的な深い知識とノウハウを所有

AI・IoT事業

製造現場の人手不足対策としてスマートファクトリー化を加速する企業の支援

クラウド環境で
データを集積・AI分析し、
効率性を改善

実績

- IoTを利用した設備
保安全管理
- AI技術による生産
性向上システム

クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

クラウド化支援

- クラウドへのデータ
移管業務
- データ分析・解析用
の基板構築支援

セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション
設定確認

保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

ソリューションセンター

次世代の独自ソリューション開発を検討するプロジェクトを立上げ

各事業部から
次世代事業を
検討できる
人材を結集

現状維持へのシステム投資：ラン・ザ・ビジネス

システム
ソリューション
事業部

ICT
事業部

西日本
事業部

- スマートデバイスソリューションセンター
- CSソリューションセンター

新規事業

事業戦略室

新規事業
推進部

事業成長へのシステム投資：バリュー・アップ

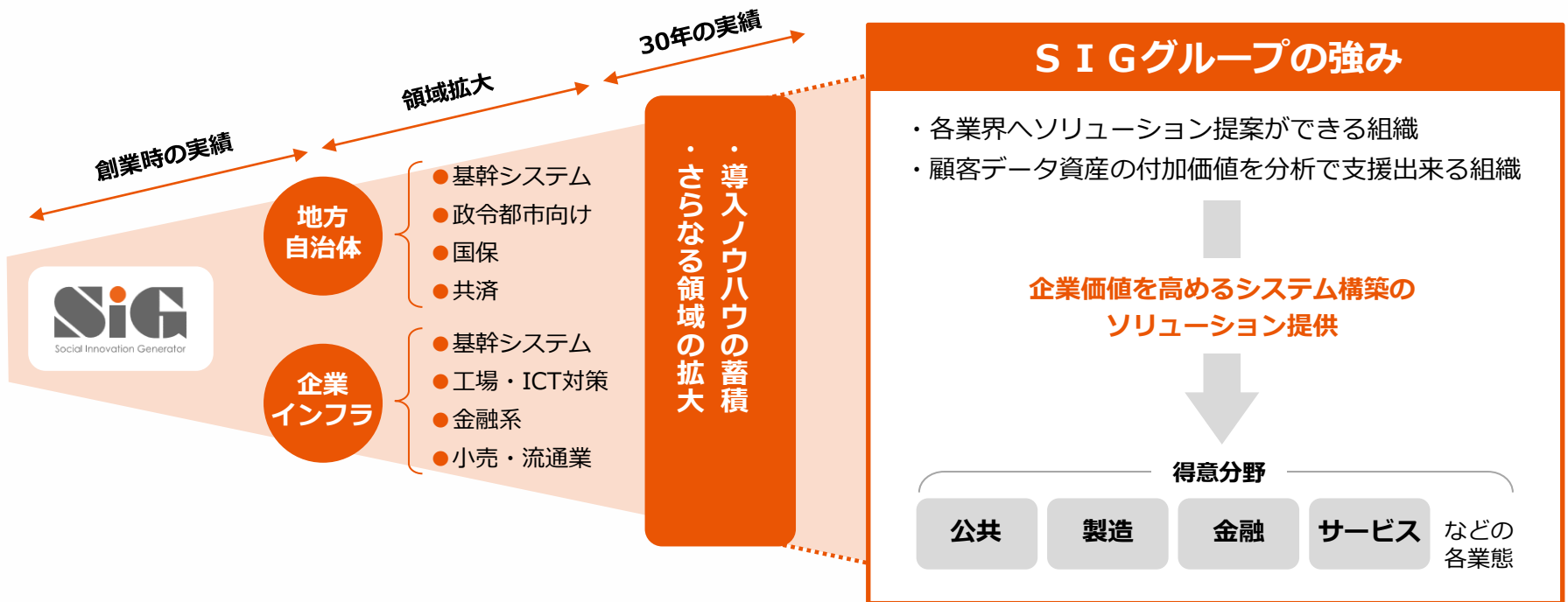
「スマートデバイスソリューションセンター」では、AI・IoT技術を活かしたソリューションを提供します

「CSソリューションセンター」は、クラウド及びセキュリティ事業に関してソリューションを提供します

顧客のシステムニーズに応える技術と実績

要素

- 地方自治体・電力会社等への基幹システム系の導入実績多数
- 30年の積み重ねで各業態固有の導入ノウハウを蓄積
- DX対応を背景に、各業態のあるべき姿へのシステム支援を提供



需要が伸びる中小企業へ説得力のあるサービス設計を構築

計画

- 大手企業のパートナーとしてセキュリティ業務ノウハウを蓄積
- 顧客層のニーズを意識したソリューション提供先との事業提携を模索
- SIGグループ発、特徴のあるセキュリティソリューション提供を目指す

SIGグループの セキュリティ事業のコア

セキュリティ
業務の
ノウハウの蓄積



特徴ある企業
との
アライアンス



実績のある
社会インフラ
事業との連携



目的

- 効果の訴求が難しいセキュリティソリューションニーズの掘り起こし
- 実績と信頼のある既存業務・事業に特徴のある外部のソリューションを加えて新規顧客獲得へ

多様な働き方を実現することで国内外の優秀な人材を確保

構想


- 酒田市デジタル変革戦略のVISION実現に貢献
- 東南アジアの優秀な人材の採用と国内の職場順応を支援
- 既存の地方拠点とのシナジーで国内IT人材の更なる確保を目指す

SIG

酒田市の「地方自治体のDXモデル化」実現に向けた具体案

- 住民サービスのDX化による利便性の向上
- リカレント教育でDX人材の育成
- 中小企業のデジタル化の支援

酒田事業所


- DX化戦略を支援するためSIGグループが支援
 - 山形出身者の地元で働きたい要望に応える
 - グループの地方開発拠点へ
- 
- 酒田市との協働を一つのモデルとし、他の地方自治体へ応用し、拠点開発を検討

SIGグループ

日本で働きたい外国人を大学・地方自治体と協働して職場への順応を支援

- 今後、更に増加する国内企業のDX化支援に必要な人材を獲得
- 国内の各拠点の国際化を計り、特徴のある拠点作りを目指す

グローバルテクノロジー宮崎（株）

- SIGグループのグローバル戦略を担当
 - 海外にSIGグループの開発拠点の設置計画
 - 海外案件を受注し、グループ全体で対応予定
- 
- バングラデシュ、ベトナム駐在所、ダッカ開発センター設置計画

ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 当資料に関するお問い合わせ

株式会社 S I G グループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580 (代表)